

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)  
■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	新潟商業高等学校体育館
建設地	中央区 白山浦2-68-2
用途地域	第二種中高層住居専用地域
建物用途	集会所, 工場,
竣工年	2018年7月 竣工
敷地面積	43,201.00 m <sup>2</sup>
建築面積	2,881.95 m <sup>2</sup>
延床面積	5,723.32 m <sup>2</sup>
階数	地上3F
構造	RC造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2017年1月15日



## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{56.6}{36.1} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.8		バリアフリー	Q2.1.1.3 1.0
			維持管理	Q2.1.3 4.0
			更新性	Q2.3.3 3.4
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.7		耐震・免震	Q2.2.1 3.8
			信頼性	Q2.2.4 3.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	4.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 4.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	LR2.1.1 4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 5.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	Q3.1 3.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 4.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の為に、維持管理のしやすい仕上げ材を使用すると共に、維持管理業務の環境整備に重点をおきました。
- 耐震性については、建築基準法の1ランク上の25%増を計画しています。
- 大雨の取組みについて、敷地内の通路の舗装は透水性のある材料を使用します。また学校の為、透水の見込めるグラウンドを有しています。
- 地球温暖化対策の為に、外壁等の適切な断熱で暖房の使用エネルギーの削減に努めています。
- 資源循環の為、リサイクル建材の使用、節水型便器の設置、新潟地場産木材の採用に努めています。
- 既存樹木は出来るだけ活かし、景観の保全に努めています。
- 地域の魅力を伝える為、新潟地場産素材の活用を計画しています。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟商業高等学校体育館	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	1,232 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,072 時間/年
建物用途	集会所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 竣工	評価の実施日	2017年1月15日
敷地面積	43,201 m <sup>2</sup>	作成者	海津 正男
建築面積	2,882 m <sup>2</sup>	確認日	2017年1月15日
延床面積	5,723 m <sup>2</sup>	確認者	海津 正男



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 28%  
③上記+②以外の 28%  
④上記+ 28%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

**Q1 のスコア = 3.1**

項目	スコア
音環境	1.4
温熱環境	3.4
光・視環境	1.8
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能

**Q2 のスコア = 3.0**

項目	スコア
機能性	2.5
耐用性	3.5
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

**Q3 のスコア = 3.5**

項目	スコア
生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.5

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

**LR1 のスコア = 3.5**

項目	スコア
建物の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

**LR2 のスコア = 3.4**

項目	スコア
水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	2.9

#### LR3 敷地外環境

**LR3 のスコア = 3.6**

項目	スコア
地球温暖化	5.0
地域環境	3.2
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	自然採光、通風を取り入れた明るく快適な学習環境を基本方針としています。また本校の伝統を考慮し、格調性と利便性を重視した計画としました。周囲環境への配慮としては、境界際に緑地帯等を設けることにより、周辺との調和を計画しています。また構造体の耐震化および非構造部材の耐震対策に十分な配慮をし、防災機能の向上を図ることで地域の拠点となる学校を目指しています。	
<b>その他</b>	新潟建材流通による地域の活性化に配慮し、杉ブランド材の有効利用した計画としています。	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
適切な大きさの窓を設け、明るい体育館となるよう配慮し、眩しすぎないよう、直射日光はカーテンで制御可能な計画としました。また、採光が望めない天気にも照明により適切な照度を保ちます。	維持管理の為、内装仕上は汚れやすい部位に防汚性の高い建材を採用し、清掃しやすい環境の整備(流し場の設置、ゴミスペースの確保)に努めています。耐用性において建築基準法に定められた25%の耐震性を有しています。	地域固有の文化の継承に努めています。また地域住民も利用し易いようアプローチ、出入口を計画し、地域の活動やにぎわいに貢献しています。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
省エネルギー計画書により、日射や室内外の温度差による熱損失・熱取得の低減に努め、冷暖房の使用エネルギーを削減するよう努めております。	シックハウス症候群を除いた動植物に健康被害を起こすおそれのある有害物質を含まない建築材料を積極的に採用しています。(接着材、塗料等)また、非構造材料において、グリーン調達品、エコマークを取得した材料を採用し、限りある資源に対する再利用率に取り組んでいます。	敷地外環境において、建物の運用時に発生する自動車利用による交通負荷を抑制する為の取り組みとして、自動車の出入りの円滑化や適切な量の駐車、駐輪スペースの設置などに努めています。また運用時における廃棄物の発生抑制、及び分別措置、減容、減量化に取り組んでいます。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される